平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場会社名　英和株式会社　　上場取引所　大
コード番号　9857　URL　http://www.eiwa-net.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 阿部　健治
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長　(氏名) 山枡　理伸　TEL 06-6539-4801

四半期報告書提出予定日　平成23年11月14日　配当支払開始予定日　平成23年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	12,413	9.5	209	276.7	211	275.6	124	―
23年3月期第2四半期	11,333	6.5	55	―	56	―	△23	―

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　126百万円　(―%)　23年3月期第2四半期　△57百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	19.71	―
23年3月期第2四半期	△3.78	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	15,858	6,405	40.4
23年3月期	17,202	6,310	36.7

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　6,405百万円　23年3月期　6,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	5.00	―	5.00	10.00
24年3月期	―	5.00			
24年3月期(予想)			―	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,500	4.7	458	1.1	458	1.1	202	23.9	31.89

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	6,470,000 株	23年3月期	6,470,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	135,609 株	23年3月期	135,048 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	6,334,786 株	23年3月期2Q	6,337,103 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……２
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……２
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……２
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……３
２．サマリー情報（その他）に関する事項 ……４
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……４
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……４
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……４
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 ……４
４．四半期連結財務諸表 ……５
（１）四半期連結貸借対照表 ……５
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……７
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 ……７
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 ……８
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……９
（４）継続企業の前提に関する注記 ……10
（５）セグメント情報等 ……10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……10
（７）重要な後発事象 ……10
５．補足情報 ……11
生産、受注及び販売の状況 ……11

※当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページ等で掲載する予定です。

・平成23年12月１日（木）・・・・・・アナリスト向け決算説明会

・上記説明会のほかにも、当社では、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（平成23年４月１日～平成23年９月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災および原子力発電所の事故に伴う電力供給問題等により企業の生産や輸出の減少が懸念されましたが、サプライチェーンの復旧が進み、持ち直し傾向にありました。しかしながら、欧州の財政不安や米国経済の低迷等により歴史的な円高水準が続き、投資マインドにも影響を及ぼし先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当企業グループにおきましては、「経営基盤の強化と企業価値の向上」を経営基本方針に掲げ、既存事業領域である石油化学、鉄鋼、電力業界等においては、安定運転維持に必要な計測制御機器・メンテナンス機器の拡販や、先端技術開発部門への研究開発関連機器の提案等を実施し、密着営業による深耕・拡大営業に注力するとともに、震災により被災した顧客に対し、設備の早期復旧に最大限の協力を行ってまいりました。

また、将来の成長分野と位置付ける自動車産業市場と中国市場においては、引き続き、情報の共有と活用により顧客の開拓と深耕を促進し、収益基盤の構築に邁進してまいりました。

その結果、生産回復に伴う企業の設備投資の増加や、震災による被災設備の復旧需要等により、当第２四半期連結累計期間の売上高は124億13百万円（前年同四半期比9.5％増）となりました。

利益面では、付加価値営業推進の成果もあり利益率が向上し、売上総利益19億92百万円（前年同四半期比14.0％増）、営業利益２億９百万円（前年同四半期比276.7％増）、経常利益２億11百万円（前年同四半期比275.6％増）となり、四半期純利益は子会社において還付税金が発生したことにより、１億24百万円（前年同四半期は四半期純損失23百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債および純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ13億43百万円減少し158億58百万円となりました。これは前連結会計年度末に比べ現金及び預金が５億98百万円、受取手形及び売掛金が８億１百万円それぞれ減少したことが主な要因であります。

一方負債の部では、前連結会計年度末に比べ14億38百万円減少し94億53百万円となりました。これは前連結会計年度末に比べ支払手形及び買掛金が12億47百万円、未払法人税等が１億79百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産は剰余金の配当による減少が31百万円あること、四半期純利益が１億24百万円であること等により前連結会計年度末に比べ95百万円増加し64億５百万円となりました。その結果、自己資本比率は40.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金および現金同等物（以下「資金」という）は20億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ５億98百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、５億99百万円となりました。（前年同四半期連結累計期間は８億80百万円の減少）これは、売上債権が減少したものの、仕入債務の支払いによる減少がそれを上回ったことが主な要因であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、17百万円となりました。（前年同四半期連結累計期間は７百万円の減少）これは、有形固定資産および無形固定資産の取得による支出が主な要因であります。

これにより、営業活動によるキャッシュ・フローと、投資活動によるキャッシュ・フローをあわせたフリー・キャッシュ・フローは、６億17百万円のマイナスとなりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、18百万円となりました。（前年同四半期連結累計期間は31百万円の減少）これは、配当の支払いによる支出があったものの、長期借入による収入が、長期借入金の返済による支出を上回ったことが主な要因であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しといたしましては、欧州の財政不安や米国経済の低迷等により歴史的な円高水準が続いており、当企業グループ事業領域における国内設備投資については、先行き不透明な状況にあります。このため、当面の経営環境は引き続き厳しいものになると考えておりますが、現場戦力の強化・育成に注力するとともに、当企業グループの強みである全国のセールスネットワークを活かした付加価値の高いベストな提案を行い、提案型技術商社として顧客満足度の一層の向上に努めることで、経営計画の実現に邁進してまいります。

なお、平成24年３月期の連結業績予想につきましては、現時点では平成23年５月16日に発表いたしました業績予想通りであります。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,609,606	2,011,017
受取手形及び売掛金	11,205,242	10,403,791
たな卸資産	386,273	437,875
その他	244,504	237,722
貸倒引当金	△13,335	△12,430
流動資産合計	14,432,291	13,077,975
固定資産		
有形固定資産	1,497,265	1,483,252
無形固定資産	110,725	104,158
投資その他の資産		
その他	1,244,558	1,276,137
貸倒引当金	△82,558	△82,726
投資その他の資産合計	1,161,999	1,193,411
固定資産合計	2,769,991	2,780,821
資産合計	17,202,282	15,858,797
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,124,783	7,877,099
短期借入金	79,934	77,594
1年内返済予定の長期借入金	500,000	180,000
未払法人税等	273,540	93,953
賞与引当金	251,220	230,610
役員賞与引当金	11,000	6,000
その他	240,629	210,918
流動負債合計	10,481,107	8,676,175
固定負債		
長期借入金	100,000	470,000
退職給付引当金	165,495	194,145
引当金	144,691	112,319
その他	680	680
固定負債合計	410,866	777,144
負債合計	10,891,973	9,453,320

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,533,400	1,533,400
資本剰余金	1,567,550	1,567,550
利益剰余金	3,246,668	3,339,881
自己株式	△48,432	△48,578
株主資本合計	6,299,186	6,392,252
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,598	22,195
為替換算調整勘定	△11,475	△8,972
その他の包括利益累計額合計	11,122	13,223
純資産合計	6,310,309	6,405,476
負債純資産合計	17,202,282	15,858,797

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
売上高	11,333,097	12,413,463
売上原価	9,585,353	10,420,597
売上総利益	1,747,743	1,992,865
販売費及び一般管理費	1,692,003	1,782,890
営業利益	55,740	209,975
営業外収益		
受取利息	1,423	1,987
受取配当金	3,014	3,230
仕入割引	6,412	8,465
為替差益	－	133
その他	6,329	6,513
営業外収益合計	17,181	20,331
営業外費用		
支払利息	6,030	6,876
支払保証料	6,693	7,387
為替差損	8	－
その他	3,901	4,641
営業外費用合計	16,635	18,905
経常利益	56,286	211,400
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,406	－
特別利益合計	3,406	－
特別損失		
有形固定資産除却損	1,078	1,305
ソフトウエア除却損	10,451	－
投資有価証券評価損	3,950	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6,808	－
事業構造改善費用	19,320	－
その他	－	26
特別損失合計	41,609	1,331
税金等調整前四半期純利益	18,083	210,069
法人税、住民税及び事業税	30,491	86,893
法人税等還付税額	－	△15,645
法人税等調整額	11,529	13,933
法人税等合計	42,020	85,181
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△23,937	124,887
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△23,937	124,887

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△23,937	124,887
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△32,539	△402
為替換算調整勘定	△791	2,503
その他の包括利益合計	△33,330	2,100
四半期包括利益	△57,268	126,988
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△57,268	126,988
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	18,083	210,069
減価償却費	37,728	38,136
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6,808	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△5,674	△736
退職給付引当金の増減額（△は減少）	25,448	28,649
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	5,623	△32,371
受取利息及び受取配当金	△4,438	△5,218
支払利息	6,030	6,876
為替差損益（△は益）	△3,319	△2,340
有形固定資産除却損	1,078	1,305
無形固定資産除却損	10,451	－
投資有価証券評価損益（△は益）	3,950	－
売上債権の増減額（△は増加）	1,052,778	801,967
たな卸資産の増減額（△は増加）	△23,611	△51,469
その他の流動資産の増減額（△は増加）	9,474	△18,389
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,033,215	△1,248,394
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△9,898	△60,506
その他	△8,210	△17,160
小計	△910,911	△349,582
利息及び配当金の受取額	4,465	5,068
利息の支払額	△6,079	△6,730
法人税等の支払額	△23,288	△266,179
法人税等の還付額	55,733	17,536
営業活動によるキャッシュ・フロー	△880,080	△599,888
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,953	△9,560
無形固定資産の取得による支出	△4,160	△7,354
投資有価証券の取得による支出	－	△359
その他	△900	△480
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,013	△17,753
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	100,000	550,000
長期借入金の返済による支出	△100,000	△500,000
自己株式の取得による支出	△191	△145
配当金の支払額	△31,644	△31,800
財務活動によるキャッシュ・フロー	△31,836	18,053
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,022	1,000
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△921,951	△598,589
現金及び現金同等物の期首残高	2,930,840	2,609,606
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,008,888	2,011,017

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成22年４月１日　至　平成22年９月30日)

当企業グループは、工業用計測制御機器、環境計測・分析機器、測定・検査機器、産業機械等をユーザーへ販売（一部製造販売）することを事業としております。取扱商品の内容、販売市場、販売方法、サービスの提供方法が類似している事等から判断して、当企業グループの事業区分としては単一セグメントであるため、記載を省略しております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）

当企業グループは、工業用計測制御機器、環境計測・分析機器、測定・検査機器、産業機械等をユーザーへ販売（一部製造販売）することを事業としております。取扱商品の内容、販売市場、販売方法、サービスの提供方法が類似している事等から判断して、当企業グループの事業区分としては単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

該当事項はありません。

５．補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第２四半期連結累計期間における生産実績は、次のとおりであります。

品目別	生産高(千円)
工業用計測制御機器	116,307
産業機械	66,054
合計	182,362

(注) １　上記は製造を行っております連結子会社(双葉テック㈱)の合計金額であります。
２　上記金額は製造原価によっております。
３　上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第２四半期連結累計期間における受注実績は、次のとおりであります。

品目別	受注高(千円)	受注残高(千円)
工業用計測制御機器	144,643	43,456
産業機械	102,562	80,276
合計	247,205	123,733

(注) １　連結子会社(双葉テック㈱)において受注生産を行っております。
２　上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第２四半期連結累計期間における品目別の販売実績は、次のとおりであります。

品目別	販売高(千円)
工業用計測制御機器	7,225,031
環境計測・分析機器	1,044,437
測定・検査機器	561,422
産業機械	3,582,572
合計	12,413,463

(注) １　上記金額には、消費税等は含まれておりません。